

新日鉄ギャラリー
君津製鉄所

One Scene



1965年に創業し、1968年の第一高炉火入れとともに、日本最大の鋼材消費地である首都圏に銑鋼一貫生産体制を確立した君津製鉄所。構内には山手線2周分、70kmの線路が張り巡らされ、銑鉄を運ぶ「トービードカー」や中間製品・最終製品などを運ぶ特殊な貨車が行き来する。

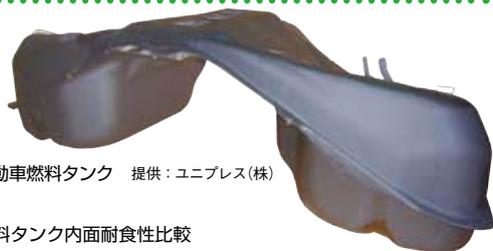


直協社員がコラボしてボディを描いた車両と、魚雷型のトービードカー。一両で300トンの銑鉄を運ぶ

新日鉄の
ECO
Products

バイオ燃料にも強い **エココート®-S**

鋼板上に錫と亜鉛をめっきした自動車燃料タンク用鋼板「**エココート®-S**」
燃料タンク用鋼板に求められる、製造工程でのプレス成形性、溶接性、塗装性や使用時の安全性や耐久性。さらに今後利用拡大が予想されるバイオ燃料にも対応する高い耐食性や、燃料透過防止性能で優れた特性を發揮し、国内自動車メーカー各社に採用されています。
めっき層の組織を極めて精緻にコントロールする高度な技術により生まれた**エココート®-S**は、第3回「ものづくり日本大賞」内閣総理大臣賞を受賞しました。



自動車燃料タンク 提供：ユニプレス(株)

燃料タンク内面耐食性比較

